

13春闘勝利！ 地域統一闘争で闘うぞ！

港合同

全国金属機械労働組合 港合同
 大阪市港区南市岡3-6-26
 TEL 06-6583-4858
 FAX 06-6583-4600

港合同は、過日開催したブロック会議において、今春闘にのぞむ基本的な方針を確認した。

港合同職場討議資料で労働者を取り巻く情勢についての認識を図りながら、港合同の組織事情は『倒産企業もあれば、比較的「優良」な企業もあり、様々な企業の中で、一様の賃金闘争にはならないが、やれるところだけ取り組むのではなく、港合同全体で取り組む』として、今春闘も港合同

が一丸となって、地域統一闘争で闘う方針を全体で承認した。

地域統一闘争の下で統一要求金額を二万円と定め、要求提出日を始め統一スケジュールを確認した。

港合同の春闘に臨む基本的な考え方は以下の通りである。

賃金は労働力の再生産費である。生活しうるに足る賃金を得る事によって、明日の労働もできるという事である。労働者

が生活できる賃金を支払い、労働を提供してもらうことによって企業が維持されていくのである。

「企業あつての労働者」ではなく「労働者あつての企業」である。企業規模や業績に関わらず、労働者の生活に必要な金額は変わらない。

資本は「このままでは企業が守れない。国が滅ぶ」「雇用が守れない」と不安と動揺を煽りながら、賃下げ、解雇攻撃をかけてくる。しかし「仕事が無い」「業績が悪い」「支払能力がない」のは労働者の責任ではなく、資本・経営の責任である。独占資本による重層的支

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

配・切り捨て政策の下で、中小零細企業が厳しい経営環境にあることは事実である。しかし「自分たちも苦しいのだ」と、経営者の立場や権力を振りかざして労働者・労働組合の人格を否定し、賃金を押さえ込んで当たり前とする姿勢には断固として対決しなければならぬ。

企業の間違った状況や経営実態をすべて明らかにした上で、謙虚に協力を求めるといっているのであれば、協力・協同もあり得るといのが我々の立場である。

一方で協力を求め、依然として支配者然とするのであれば、断固として反省を求めるか、対等の立場を貫かなくてはならない。

さらに、昨年春闘時に、故大和田事務局長が討議資料Ⅱとして出された方向性を再度確認したい。

社会全般、労働運動総体が生氣を失っている現在、春闘を経済的獲得で評価することだけに止まらず、将来に向けて地域の労働者が安心して得る、期待する組織とは如何なるものか、それこそ、今春闘が求める最大の方向性と云えるだろう。

如何なる組織を目指して、単なる経済的評価に止まる事なく、(信頼獲

港合同統一要求金額
20,000円

春闘統一スケジュール

- 要求提出日
3月12日(火)
- 回答指定日
3月21日(木)
- 交渉日
3月26日(火)
29日(金)

得こそ求めるものであるが)企業そのものに実力がなくとも、誇れる労働組合、消滅しようとする攻撃を仕掛けても生き抜く組合、地域も未組織も頼れる労働組合にする為の団結をどの様に確保するか、資本主義の破綻が見えてくるだけに、力強く生き抜く労働組合にむけて検討し、港合同の方向性を

定めよう。

当面、企業に要求を掲げながら、結果に一喜一憂しない組合を作り上げよう。

港合同の組織原則は、如何なる困難があっても闘いをもって活路を見出す、ことである。

地域統一闘争で春闘を闘い、大幅賃上げを勝ちとろう!